

SDジンク100QD(E)

SD ZINC 100QD(E)

一般名称	エポキシ樹脂ジンクリッチプライマー				
適用規格	JIS K 5552:2002 2種 ジンクリッチプライマー2種				
系統	ポリアミド硬化エポキシ樹脂ジンクリッチプライマー(2液形)				
主な用途	【電力・プラント用】		【鉄塔・鉄骨用】		など
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	※ 消耗した亜鉛めっきの補修のみ適用可
	○	△	×	×	
特長	1)速乾性で、ショップコートとしてのライン適性が優れている。 2)防錆力が優れている。 3)耐電気防食性が優れている。				

塗料性状	塗料密度(比重)	2.08		
	溶剤密度(比重)	0.86		
	加熱残分	74%		
法令など	ベース		硬化剤	
	劇物表示 (品名・含有率)	—		—
	労安法上の 表示有害物	キシレン、トルエン、イソブチルアルコール メチルイソブチルケトン、エチルベンゼン		キシレン、トルエン、メチルイソブチルケトン、 イソブチルアルコール、エチルベンゼン
	使用有機 溶剤種別	第2種有機溶剤等		第2種有機溶剤等
	消防法による 危険物区分	第1石油類(非水溶性)		第1石油類(非水溶性)
	硬化剤の成分 による区分	変性ポリアミドアミン		
	ホルムアルデヒド 放散等級	—		

製品情報	ベース		硬化剤	
	荷姿	20kgセット	17.5kg	2.5kg
	混合比(重量比)	ベース:硬化剤=7:1		
	主な色(色相)	グレー N-55やや青味近似		

※色相は近似であるため、塗板等にてご確認下さい。

素地調整	○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。 ○ブラストにより、錆・ミルスケール・脆弱な塗膜は除去する。(ISO Sa2 1/2)		
使用方法	調合方法	ベースに硬化剤を混入し、十分に攪拌したのち使用する。	
	熟成時間	不要	※規格に規定があるものは、それに準拠してください。
	使用シンナー	SDジンクシンナー	
	希釈率(重量比)	エアレス： 0～20wt% ハケ・ローラー： 0～5wt%	
	エアレススプレー	2次圧	10MPa(100kg／cm ²)以上
	塗装条件	チップNo.	163－515～621
			(日本グレイ社製)

SDジンク100QD(E)

SD ZINC 100QD(E)

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m ² /回
エアレススプレー塗り	15	60	170
ハケ・ローラー塗り	15	60	130

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	
乾燥時間	指触	—	—	—	—	—	
	半硬化	8分	8分	4分	2分	2分	
標準塗装間隔 注)	最短	6時間	6時間	3時間	2時間	2時間	
	最長	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	
可使時間		16時間	16時間	8時間	6時間	6時間	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温 5℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 下塗塗料	強溶剤:	—
	弱溶剤:	—
	ハイソリット:	—
	水性:	—
主な適用 上塗塗料	強溶剤:	アルテクトプライマー、エポマリン、エスコ、ミリオンなど
	弱溶剤:	—
	ハイソリット:	—
	水性:	—

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200℃耐用 、 長時間 100℃耐用
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数	
	0	37.1	2.7	【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または 【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で 希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。 ※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。
	10	29.9	3.3	
	20	25.0	4.0	

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容は製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の
注意事項 1)密度の大きい亜鉛末を使用しており、調合後や塗装中もよく攪拌して沈降を防止してください。
2)素地調整が酸洗の場合、中和が不十分ですと付着性が低下します。
3)鋼板を連続塗装し、積り重ねる場合は、塗膜をよく乾燥させてください。
4)鋼板を積重ねた状態で屋外に長期間保管する場合は、地面から離し、鋼板の間に雨水がたまらないように
配慮してください。不十分な保管方法では白さび(亜鉛化合物)の生成や発錆の原因になります。
5)塗装鋼板の溶断・溶接時には換気を十分に行い、ガスマスクなどの保護マスクを着用してください。
6)油性系およびフタル酸樹脂系塗料は塗り重ねできません。
7)塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱ってください。
本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。
8)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(製品安全データシート)を参照してください。